

平成30年度 なかいずみ学府 グランドデザイン

＜子供のよさ＞
 明るく素直で、物怖じせず、人なつっこい。異学年の仲がよい。
 ＜子供の課題＞
 学力の二極化の傾向が強く、学ぼうとする意欲も個人差が大きい。中1キヤップ、不登校や問題行動が少なからずあり、子どもの健全な育成の妨げとなっている。

《なかいずみ学府の育てる子供像》

① 「あなたもいいね」 「惻隠」 「あなたは一人で はない」 (他者受容) (他者への信頼感)	② 「わたしっていいな」 「矜持」 「あなたはあなたの ままでいい」 (自己受容) (自尊感情)	③ 「みんなのために」 「堂々」 「あなたには力がある」 (自己有用感) (貢献できる力の自覚) (存在感)
--	---	---

＜静岡県「有徳の人づくり」＞
 1. 自らの資質・能力を伸長し、個人として自立した人
 2. 多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切に
 3. 社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人
 ＜磐田市の目指す教育＞
 ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民

なかいずみ学府の教育目標

つながりの中で、子供たちに確かな学力、豊かな心を育てる

30年度の重点目標

「授業改善」と「実感」をもとに小中の交流を深める

【確かな学力づくり】

- 学び合う授業づくり**
 ～それぞれの校内研修の推進と交流～
 ○ 個人レベルでの授業改善を意識した実践
 ○ 授業参観による教員交流
 ○ 中学校教員の小学校入り込み授業
 ○ 小中、小中の教科の接続(教科部会の充実)
 ○ 9年間を見通した学び(カリキュラム作成の足がかり・指導計画の見直し)
- 基礎学力の定着・学習習慣の確立**
 ・各校の補充学習の推進
 ・中学校教員と学級担任による小学校(算)のTT授業の実施
 ・国、算、英(中学)等に関する家庭学習の継続
- 外国語活動と英語のゆるやかな接続**
 ○ なかいずみカリキュラム外国語版の実践・修正
- 中1数学の授業による相互交流**
 ○ 中学とのつながりを意識した授業改善
- 地域の人・もの・ことから学ぶ**
 ○ 生活科・総合的な学習の時間の学びの接続

【豊かな心づくり】

- 基本的な生活習慣の定着**
 ○ 小中のつながりをもった基本的な生活習慣の定着
 ・「かかわり」と「つながり」を広げる挨拶の交流
 ・靴のかかとをそろえる、心をそろえる
 ○ 合同学校保健委員会の実施
- 豊かな心を育てるための取組**
 ○ 子供に付き、子供の心に寄り添う生徒指導
 ・不登校問題の対策を考える取組
 ○ 子供のニーズに応じた特別支援教育の推進
 ○ 思いやりの心を育てる異学年交流
- 学校行事等をおとした子どもの交流**
 ○ 児童会と生徒会活動…挨拶運動、ボランティア活動
 ○ 歌声を聴いたり一緒に歌ったりする合唱コンクール
 ○ 課外活動・部活動を通じた交流、学び合い
 ○ 運動会と体育大会 よさこいソーラン節
 ○ 職場体験学習をおとした児童生徒間交流
 ○ 小小協働による観音山宿泊体験活動

9か年の学びと育ちに責任をもつ

学校風土 向上作戦

ありがとう 深呼吸 Nスタイル

《互いをひらき 教員同士がつながる》

子供理解・指導をつなげる
小中連絡会・一中総務会

子供観や授業観を共有し、教師間のつながりを深める
合同授業研修会の開催

《地域とつながる》

地域人材の共有
○ 学習参加
○ 各種活動の支援

一貫教育部会の開催

- 授業づくり部
- 生徒指導部
- 特別支援教育部
- 特別活動部
- 教育課程部
- 養護教員部
- 事務部

3校合同学校保健委員会 兼PTA教育講演会

生徒指導や事務の連携
 ○ 一中総務会への参加
 ○ 定期的な3校事務連絡会の開催
 ○ SSWの活用

なかいずみ学府協議会の設置

- 各学校協議会組織を生かした地域との連携
- 地域の方による学習支援についての推進

学府合同引き渡し訓練の実施

- 災害に備えた3校合同の訓練

子供、教師、保護者が、小中一貫教育に直接にかかわることで感じる「よさ」「面白さ」「大変さ」等様々な思い